

自宅で最期を迎えると決めたなら…

①信頼できる看護師や主治医などに相談しましょう

本人や家族の思いを最大限実現するために、その人が必要とするサービスはどの程度のものなのか、どんなサービスを利用するのかを相談し、計画を立てましょう。



②最期を迎えるための環境を整えましょう

家族や親しい人とゆっくりと過ごせる時間を作ったり、思い出の品物をそばに置いて過ごすこともおすすめです。

③その時のために心構えをしておきましょう

充実したサポート環境があったとしても、毎日の介護や最期を看取る家族にも身体的・精神的な負担がかかることを忘れてはなりません。

本人の意志はもちろん、看取る家族も気持ちの整理が必要なのです。大切な家族の最期を充実したものにできるように、また、その時が来た時には誰に連絡を取るか、どのような言葉をかけるかなどの心構えも必要です。



当院の訪問看護ステーションに相談ください

シヨンに相談ください

現在、医療機関等の施設で死亡する人は80%以上である一方で、自宅で看取られるケースは15%程度にとどまっています。自宅で最期を迎えたい人が全体の過半数でありながら、現実と乖離がある背景には、本人の意志が変化したり、家族が入院での延命治療などを希望されたり、様々な要因があります。職員一同、できる限り本人や家族の想いを尊重し、希望を叶える一助となるように、日々患者様、家族様の想いに寄り添い、その気持ちと向き合っています。

高齢者の介護などで悩んでいる人があらわれましたら、気軽に相談ください。一緒に考え、サポートさせていただきます。



問合せ先

国民健康保険智頭病院

☎75-3211